

平成24年度第4回神石高原町小中学校学力向上
プラン社会科研修会
平成24年度第5回神石中学校校内授業研修会
学習指導案

第2学年 社会科学学習指導案 単元名：中部地方

平成24年9月20日（木）5校時 指導者：和田 智行

単元について

本単元は、中学校学習指導要領社会の地理的分野内容（2）ウ日本の諸地域（ウ）産業を中核とした考察で「地域の農業や工業などの産業に関する特色ある事象を中核として、それを成立させている地理的諸条件と関連付け、地域に果たす産業の役割やその動向は他の事象との関連で変化することなどについて考える」ことを示している。

また、小学校学習指導要領社会の第5学年の目標（2）「我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにする。」と2内容（3）イ「我が国の各種の工業生産や工業地域の分布など」に関連した内容である。

本単元では、産業を中心とした中部地方の特色の追究をめざす。また、資料を読解し、その内容をまとめ、発表することで思考力・判断力・表現力を養い、地理的分野の学習をさらに深まりのあるものに行なければならない。

生徒の実態からみる指導上の課題等

〈生徒の実態〉

昨年度は、前年度の標準学力検査（CRT）で課題であった観点2「社会的な思考・判断」、観点4「社会的な事象についての知識・理解」の得点率の全国比100以上を目標とした。本校でめざす表現力をもとに、授業の中で例題や解き方の例を示し、それを手がかりに取り組みせる活動に取り組んできたが、観点2「社会的な思考・判断」の得点率が51.7%、全国比が97（昨年：96）で全国比100を下回り、「社会的な思考・判断」に課題があると言える。

◎ 教科に関する調査の設問別の分析結果＜標準学力検査（CRT）より＞

【14】3 地図と資料の読み取り

地図1・2や資料1・2を見て、話し合っています。間違っている意見はア～エのどれだと考えられますか。1つ選びなさい。（別紙参照）

地図1・2 資料1・2省略

正答率・・・20%

正答の条件： 問題を正確に読み取り、資料の特徴を整理できている。

解答類型	1（アを選択）	2（イを選択）	3（ウを選択）	3（エを選択）
1年生（%）	0%	20%	50%	20%

この問題を解くために必要な力

- 資料を適切に選択する力
- 資料を考察して多面的・多角的に考察する力
- 問題文を正しく読んで問いを理解する力

誤答分析

- 解答類型2…資料2と地図2を関連付け、正確に読み取ることができていない。
- 解答類型3…資料1, 2と地図の2を関連付け、正確に読み取ることができていない。
以上のことから、生徒のつまずきの原因として、
- 資料読解の際に複数の資料を組み合わせ、必要な情報を読み取ることができていない。
- 資料読解の際に必要な、基礎的・基本的な知識が定着していない。
- 何を問われているのかという問題文の主旨を正しく読み取って適切に選択することができない。
ということが考えられる。

〈指導上の課題〉

- 情報を読み取らせる場面で、読み取る視点を明確に与えていない。
- 授業の中で既習事項の活用が十分できていない。
- 個で読む活動が不十分である。

指導改善のポイント

〈指導内容・指導方法について〉

教科に関する調査の設問別の分析結果〈標準学力検査（CRT）〉を受けて、次のような指導改善を行うこととした。

- ① 授業のはじめに復習し、既習事項を提示する。
- ② 読み取る視点を与え、資料を読み取らせる。
- ③ 複数の資料を組み合わせ提示し、読み取らせる。
- ④ 資料から読み取ったことを根拠に説明をさせる。

〈「ことばの教育」との関連〉

「言語技術」を活用した指導を通して、生徒に付けたい力は次の通りである。

- 資料を見て、情報を読み取る場面 …… 情報を的確に分析する力
- 資料から読み取った内容をワークシートに書く場面 …… 要点をまとめる力

単元の目標

- (1) 中部地方の地誌を学習し、日本の国土に対する認識を深めることができる。
- (2) 中部地方について、産業を中核とした考察をし、中部地方の特色ある地理的事象や事柄を、他の事象と有機的に関連付けて追究し、中部地方の地域的特色をとらえることができる。
- (3) 地理的な見方・考え方や、地図や景観写真の読み取り方などの地理的技能を身に付けることができる。

単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象への 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業を中核とした考察の仕方を基に、中部地方の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中部地方の地域的特色を産業を中核とした考察の仕方を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中部地方の地域的特色に関する様々な資料を収集している。 ・ 収集した資料から、中部地方の地域的特色について有用な情報を適切に選択している。 ・ 適切に選択した情報を基に、中部地方の地域的特色について読み取ったり図表にまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中部地方について、産業を中核とした考察の仕方を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。

指導と評価の計画

(全 6 時間)

時	学習内容 (時数)	評 価				評 価 規 準	評価方法
		関	考	技	知		
1	中部地方の姿 (1)	◎				<ul style="list-style-type: none"> ・ 中部地方の地図・写真・統計数値などの資料を活用して、地方の地域的特色を意欲的に追究している。 	ノート 行動観察
2	日本の工業の中心地, 東海 (1) 【本時】		◎			<ul style="list-style-type: none"> ・ 東海では自動車工業が産業の中核となっていることを地図・グラフなどの資料を活用して、適切に表現している。 	行動観察 ワークシート
3	中央高地・北陸・東海の産業と自然環境 (1) <ul style="list-style-type: none"> ・ 東海の農業 ・ 中央高地の観光業と農業 ・ 北陸の稲作と伝統工業 			◎		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地図やグラフなどの資料を活用して、中央高地・北陸・東海の農業・工業の分布や特徴を適切に読み取っている。 	ノート 行動観察

4	産業からみた結びつき (1)		◎	・ 交通網の整備や外国との結びつきが中部地方の産業に与えた影響について理解している。	行動観察 ワークシート
5	三つの地域の成り立ちと人口分布 (1) ・ 三つの地域の成り立ち ・ 三つの地域の人口分布と産業		◎	・ 外国人人口が増加する理由を産業の視点から考察し、多文化共生社会の重要性を適切に表現している。	ノート 行動観察
6	中央高地・北陸・東海の産業と自然環境 (1) ・ 中央高地の観光業と農業 ・ 北陸の稲作と伝統工業		◎	・ 豪雪地帯や輪中地帯の人々の暮らしの様子から、自然環境が日常生活に与える影響を多面的・多角的に考え、適切に表現している。	ノート 行動観察

本時の学習

(1) 本時の目標

中京工業地帯で自動車工業がさかんな理由を資料をもとに説明できる。

(2) 本時の評価規準

東海では自動車工業が産業の中核になっていることを地図、グラフなどの資料を活用して、適切に表現している。

(3) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準 (評価方法)
1 中部地方 中京工業地帯について復習する (5分)		
○ 前時の「中部地方」の大観、工業について復習する。	◇ 机は前もって班の机にしておく。 ◇ 前時に家庭学習の課題として、教科書 P222, P223 を家で読んで大事だと思うところに線を引いておくように指示を伝える。 ◇ 中部地方の地図を用意し、中部地方、中京工業地帯、東海工業地域の位置を確認する。 ◇ 前時の学習内容を確認させる。 ◆ 出なければ指導者が提示する。	

<p>○ 自動車企業のロゴマークを提示する。(電子黒板)</p>	<p>質問「中部地方の工業について教科書 P221 の帯グラフからどんなことがわかりましたか。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><予想される反応> 中部地方の工業製品の出荷額は94兆円で、日本で一番多いです。</p> </div> <p>◇ 中部地方，中京工業地帯について小学校で学んだことを想起させる。 ◇ 小学校の教科書を電子黒板で提示する。 質問「小学校五年生で中京工業地帯について学習しましたが，覚えているものを出してみましょう。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><予想される反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車がたくさん作られている。 ・ 自動車は多くの部品（3万個）から作られる。 ・ 自動車は部品工場と組み立て工場で作られる。 ・ 自動車は三重県鈴鹿市で作られている。 </div> <p>◇ 自動車企業に中部地方発祥の企業が多いことに注目させる。資料を提示し，シェア（市場占有率）にも注目させる。</p>	
----------------------------------	--	--

2 本時の目標を確認する。(10分)

<p>○ 本時の目標を確認する。</p>		
<p>なぜ中京工業地帯では自動車工業がさかんなのだろう</p>		
<p>○ 資料② (P222) から読み取れる中京工業地帯，東海の工業についてわかることを個人で箇条書きで書く。 【書く】</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 20px; display: inline-block; padding: 5px;">個人</div> </div>	<p>「今日は，なぜ中京工業地帯で自動車工業がさかんなのか，その理由を説明できるようになりましょう」</p> <p>指示「まず資料②から読み取れる東海の工業の特徴を書き出してみよう」</p> <p>◇ 東海の工業の分布図である資料②を読み取らせる。 ◇ 図の基本的な情報を確認しておく。 (例)・ 円はその都市の工業出荷額をさすこと。 ・ 円内の業種は，その都市で最も出荷高の多い業種をさすこと。 ◆ 東海の中でどんな業種が多いか注目させる。</p>	

	<p>◇ 机間指導をして、たくさん見つけ出そうとしていることを評価する。(5つ程度を目標)</p> <p>◇ 各班3人に発表させて確認する。(板書で整理して内容を押さえる)</p> <p><予想される反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 豊田市での工業出荷高が最も多い。 ・ 業種は輸送機械が多い。 ・ 化学や石油製品がさかん。 ・ 情報通信機械がさかん。 ・ 名古屋市では一般機械が多い。 ・ 静岡県では電気機械や製紙業がさかん。 ・ 三重県では、電子部品や輸送機械、石油製品が見られる。 	
--	--	--

3 中京工業地帯の特色をまとめる。(27分)

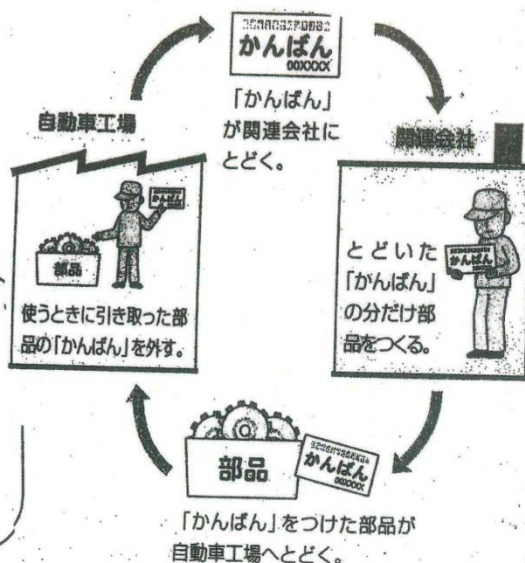
<p>○ 資料からわかることを個人でまとめる。分類整理</p> <p style="text-align: center;">個人</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>○ 資料からわかることをグループでまとめる。関連付け</p> <p style="text-align: center;">小集団</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>○ 全体で交流する。</p> <p style="text-align: center;">全体</p>	<p>○ 資料プリントを配付する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A トヨタ自動車の生産方法「かんばん方式」について</p> <p>B 愛知県の市と人口一覧</p> <p>C 中京工業地帯の範囲</p> <p>D 愛知県の自動車工業</p> <p>E トヨタ自動車の関連企業の数</p> <p>F 自動車の世界シェア</p> </div> <p>○ 中部地方の地図に注目させる。 発問「資料と地図を使って、なぜ中京工業地帯で自動車工業が盛んなのか、理由を説明しよう」</p> <p>◆ ワークシートに、資料を読み解く視点を与える。</p> <p>◆ 型として「中京工業地帯は自動車工業がさかんです。理由は～～だからです(資料○)」という形で書くことを示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>地図やグラフを通して 地域の特色を説明できる。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>情報を通して思考する力</p> </div> <p>◇ グループで出た意見をホワイトボードにまとめさせる。</p> <p>◆ まとめる時、主語や理由をはっきりさせるよう声かけをする。</p> <p>◇ 「中京工業地帯」「自動車」「労働人口」「交通網」といったキーワードを必ず使用し、結論先行で型を提示し、書かせる。</p>	<p>・ 東海では自動車工業が産業の中核になっていることを地図、グラフなどの資料を活用して、適切に表現している。(行動観察・ワークシート)</p>
--	--	---

<p>【話す】【聞く】</p>	<p>◆ ホワイトボードの発表では、まとめて必ず押さえておいて欲しいところに線を引く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><予想される反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中京工業地帯では自動車工業がさかんです。理由は トヨタ自動車が「かんばん方式」という効率のいい生産方式で生産を伸ばし、世界的な大企業になったからです。(資料A) 豊田市をはじめ愛知県には人口30万を越える都市が6つあり、自動車工場やその関連工場で働く労働人口が十分だからです。(資料B) 豊田市など多くの都市は海や川に面しており工業用水に恵まれているからです。(資料C) 中京工業地帯には空港が2つあり、海に面しているので港にも恵まれ、東名高速道路など高速道路が何本もあるなど、原料や部品や製品を運ぶ交通網も整備されているからです。(資料D) </div>	
<p>4 学習のまとめをする (5分)</p>		
<p>○ まとめをする。 【深化】</p> <p>○ 振り返りシートの内容を交流する。</p> <p>○ 教科書 P223「日本のいま」を読む。</p>	<p>指示：ワークシート(2)に書いていることに書かれていないことを付け加える形でホワイトボードの赤線部分を書いてまとめましょう。</p> <p>◇ 個々の振り返りシートに記入させる。</p> <p>◆ まとめは(資料○)と書かなくても良いことを伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><まとめ>中京工業地帯は自動車工業がさかんです。なぜなら工業立地の良さや労働人口の多さや交通網の整備という条件に恵まれ、トヨタ自動車が効率の良い生産で世界的な大企業になったからです。</p> </div> <p>◇ 数人に本時のまとめを発表させる。</p> <p>◇ 今日の学習内容を確認する。</p>	
<p>5 次時の予告 (3分)</p>		
<p>○ 次時の予告を聞く。</p>	<p>◇ 宿題を提示する。 (宿題)愛知県の隣の静岡県ではどんな産業がさかんか、まとめる。</p> <p>◇ 次時は中部地方の農業について扱うことを予告する。</p>	

資料プリント

資料A トヨタ自動車のかんばん方式

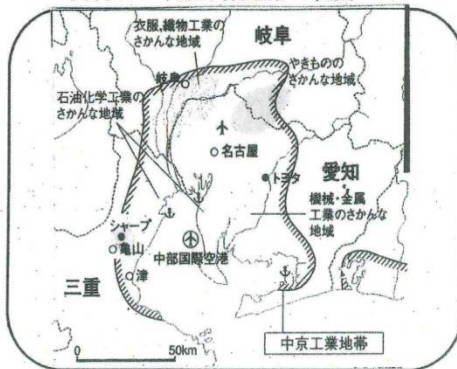
トヨタ自動車では、自動車工場と関連会社との間で「かんばん」とよばれる指示情報を使って、部品の注文や管理をおこなっています。こうすることで、よぶんな部品をつくらずにすみます。(ポプラ社「ポプラディア・日本の工業」より)



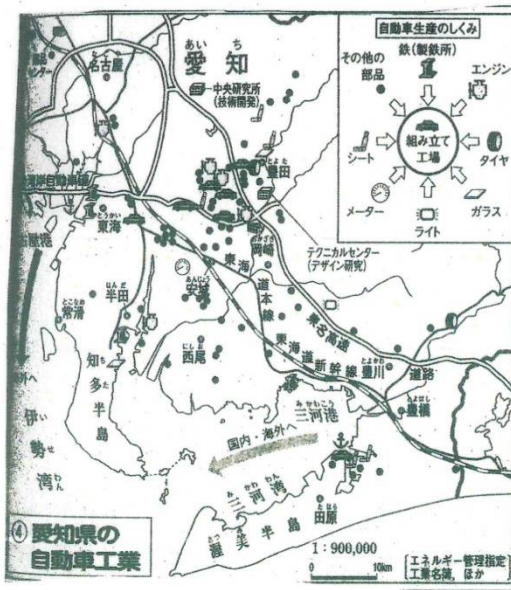
資料B 愛知県の市と人口一覧(2010年)

名古屋市	225.9万人
豊田市	42.4万人
一宮市	37.9万人
豊橋市	37.6万人
岡崎市	37.3万人
春日井市	30.3万人

資料C 中京工業地帯の範囲



資料D 愛知県の自動車工業



資料E トヨタ自動車下請け企業
 (「協豊会ホームページ」より)

関東地区	66社
東海地区	124社
関西地区	31社

資料F 世界の自動車販売シェア

順位	メーカー	国	シェア (%)
1	GM	アメリカ	11.4
2	フォルクスワーゲン	ドイツ	10.8
3	トヨタ	日本	10.0
4	ルノー	フランス	9.4

板書計画

目標：なぜ中京工業地帯では自動車産業がさかんなのだろう。

既習

<中部地方の工業の特色>

- ① 四大工業地帯の一つ、中京工業地帯がある。
- ② 日本一の工業出荷高（94兆円）

<小学校時の関連学習内容>

- ・自動車がたくさん作られている。
- ・自動車は多くの部品（3万個）から作られる。
- ・自動車は部品工場と組み立て工場で作られる。
- ・自動車は三重県鈴鹿市で作られている。

(中部地方の地図)

資料②から読み取れる東海の工業の特徴は何か？

教科書 P222 資料②の図

- ・豊田市での工業出荷高が最も多い。
- ・業種は輸送機械が多い。
- ・化学や石油製品がさかんに作られる。
- ・情報通信機械がさかん。
- ・名古屋市では一般機械の出荷高が多い。

関連付け

なぜ中京工業地帯で自動車工業がさかんなのか、理由を説明しよう

ホワイトボード

ホワイトボード

ホワイトボード

まとめ

中京工業地帯は自動車工業がさかんです。なぜなら工業立地の良さや労働人口の多さや交通網の整備という条件に恵まれ、トヨタ自動車が効率の良い生産で世界的な大企業になったからです。